

平成26年度
大学生の力を活用した集落復興支援事業

第平活動報告

T-Na

乳井亮久 伊藤健太

箒平の概要①

- ✳ 広野町はいわき市から車もしくは電車で約30分、福島第一原発からは23km
- ✳ 箒平は、広野町中心部から山道を車で20分程登った場所にある



箒平の概要②

- ✳ 箒平の歴史は長く数百年にわたる。天領(幕府の領地)として、製鉄が行われていたこともある
- ✳ 広野町住民にとっては馴染みの深い、「おばあちゃん」のような場所である



箒平の現状

- ✳ 震災後人は減っている
- ✳ 広野町の住居(仮設含む)と集落の自宅を行き来している人も多い
- ✳ イノシシの獣害がひどく、農業はほぼ成立しない



これまでの活動

＊ 住民への聞き取り調査

→主に地区長さんから、箒平の歴史、自然、産業や、住んでいる人とその暮らしについてお話を伺った。道端で偶然会った方からも有意義な情報が得られた

＊ 線量計測

→地区内数カ所の空間線量と地表面の線量を測定した。比較的高い水準ではあったが、通常の活動には全く支障のないレベルであった

＊ 交流会(BBQなど)

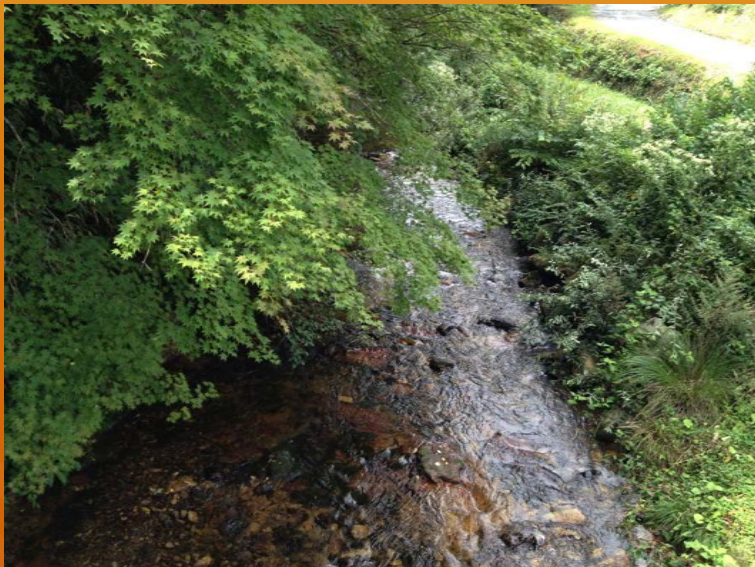


箒平の資源①

- ✳ 約50年前に、全国の森林で木材に用いるため杉の植林が行われた。その例に漏れず、箒平にも杉が植林され、現在利用可能な大きさまで成長している
- ✳ しかし、国産木材への需要低下や近年では放射能の影響により、林業向けに箒平の森林資源を用いることは難しい
- ✳ 私たちは、この**森林資源**を別の形で利用できないかと考えた

箒平の資源②

- ＊ 箒平の各所には清流が流れており、**水資源が豊富**である
- ＊ 箒平地区の区長さんをはじめとして、私たちの知らない、身に付けていない**知識や技術**を持っている方が多数いらっしゃる



活性化案①

✳ 箒平に眠る知識・技術・資源を発掘し、今の私たちの生活に活用する

✳ おばあちゃんの知恵を身に付けるイメージ

✳ そのような知恵は簡単に身に付くものではない

→継続して活動を重ねる



活性化案②

- ✳ 集会所などをお借りして、住民の方を講師とした学び・体験の場を定期的に開催する
- ✳ 積極的に集落内の各所に出向き、木の伐採や農業体験など体を使った実践的なプログラム
- ✳ 住民の方にとっても、自らの知識や技術を継承できる場となる

終わりに

- ＊ 産業の発展など、経済的な活性化だけが集落の活性化ではないと考え、このようなプログラムを提案させていただきました
- ＊ T-Naとしては、他にも広野町駅前でのコミュニティハウス建設プロジェクトに関わっています
- ＊ 最後までご静聴ありがとうございました